

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年2月15日

事業所名: 木の実教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	園庭がないので、近くの公園などや体育館などを利用している。	園庭や民家を改装している建物なので、園舎の移転等を考えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	0	基準より多くの職員配置をしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	7		民家を改装して利用しているので、玄関トイレなどバリアフリー化していない。園舎の移転等も考慮しなければならない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	毎日の掃除などこち良く過ごせる環境づくりを心掛けている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	0	毎日反省会を開き、月1回は職員会議で目標を振り返っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0		年に1回ではあるが、事業所評価を実施し、保護者の意向を把握して改善につなげている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	毎年2月に桃郷のホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	7		法人独自の第三者を交えた評価を行う予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	法人全体の研修のほか、教室独自の研修も企画している。	コロナ禍でもあり、外部研修の機会が少なかったため、今後はオンライン研修などにも積極的に参加していく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	児の経過や発達課題などいろいろな情報を収集分析して計画を策定している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	桃郷で作成したツールを使用している。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0		
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	7	0		

適切な支援の提供

14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	その日のリーダーを中心に、話し合いの中で活動プログラムを立案している。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	大きな保育の流れは変わらないが、設定保育はいろいろな経験ができるように、園外保育もとりいれて工夫している。	活動が固定化していないか、職員が機会ある毎に振り返ることが大切である。
16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	/	/		
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	桃郷は集団活動が中心の保育であるが、個別の目標も踏まえた支援計画を心がけている。	
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	毎日朝のミーティングで一日の保育の打ち合わせ、役割分担を確認している。	
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	保育終了後、一日の保育の反省を行い、良かったこと、課題・変化などの情報を共有して次の保育に活かせるようにしている。	
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	保育日誌に記録することにより、情報共有し、検証改善につなげている。	
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	概ね6か月に1回モニタリングを行い、計画の見直しや保育の改善点を判断している。	
22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	/	/		
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	木の実教室管理者がケース会議や桃郷の管理者会などに参加している。	
24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	市町村の保健師や子育て支援センターの先生、地域の子ども園・保育所などの先生とも連携している。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

25	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				
26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0		進路指導の中で転園先や見学体験などに保育士も同行して情報の共有や相互理解を深めている。
29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0		
30	(放課後等デイサービスのみのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
31	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0		
33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	0		木の実教室は親子での事業なので、地域との交流はむずかしい部分はあるが、機会をみつけて実施していきたい。
34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	0		桃郷の代表として自立支援協議会委員に選ばれた際は積極的に参加していきたい。
35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0		
36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	0		家族支援プログラムはしていないが、桃郷独自の先輩保護者の話や学習会などを実施している。
37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0		木の実教室の見学体験時と入園契約締結時に2回説明している。
38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	7	0		時間をとって、支援計画を説明し、了解を得ている。

保護者への説明責任等	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	年1回の発達相談員による相談、子育ての悩みは必要に応じて助言支援を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	保護者会はないが、保護者同士の交流会を年3回実施している。	父母の会活動は、半日の親子教室では時間的に無理があるが、交流会等を実施して、保護者同士の連携を図っていきたい。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0		
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	手作りのおたよりを発行して行事予定や活動の内容を保護者に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	法人の個人情報の管理規定があり遵守している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	分かりやすい言葉でできるだけ丁寧な情報伝達を心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	7		地域住民を招待する機会がない。今後は地域に開かれた運営を図っていく。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0		防犯マニュアルは作成していないので、早期に作成する必要がある。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0		災害訓練は1回実施したが、経験が大切なので回数を増やしていく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	2	入園時保護者からの聞き取りや保健師からの情報などで確認している。	安全のため、入園後の状況も配慮しながら、服薬等の情報収集は継続していく必要がある。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	7	0	保育活動でクッキングがあるので、入園時保護者よりの聞き取り保健師からの情報などで確認している。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	ヒヤリハットを作成し、職員に回覧して情報を共有している。	いつでも振り返られるように、見やすい場所に保管していることを職員に周知する。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	年3回虐待チェックを実施し職員が会議で検討している。	大切な課題でもあり、機会がある毎に研修の機会を設けていく必要がある。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	7		親子教室でもあり、身体拘束の必要なケースは今のところ該当がない。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2022年2月15日

事業所名: 木の実教室 保護者等数(児童数) 11名 回収数 11名 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	0	1	0	・もう少し広いといい。 ・玄関スペースが狭い。 ・園庭が欲しい。近くに公園がたくさんあるので良い。	民家を改装した園舎のため、玄関スペースが狭く、保育しづらい面もあり、適切な場所への移転も検討していきたい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	0	0	0	・いつも不安を取り除いてもらっている。	児童発達支援事業は法的には園児5人に保育士1人の配置が決められているのでそれ以上の体制を組んで保育にあたっている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	3	2	1	・ワンフロアで分かりやすいが、バリアフリーではない。 ・配慮のいる所は声かけしてくれるが、真ん中にある柱が危険と感じる。	危険が予測出来る場所は声かけで対応している。バリアフリーに関しては、大きく改善していくので、踏み台などで段差を低くすることで対応している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	0	0	0	・トイレが別にあるとなお良い。 ・走れるスペースがあり、嬉しい。	現状では、これ以上の改装は考えられないので適切で心地いい環境の場へ移転を考えていく。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	11	0	0	0		入園時に計画を作成し、その半年後にもう一度モニタリングを実施し、課題を検討し、再度計画を作成している。
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	0	0	0	・個別にとまではいけないが、集団より個別に近い支援をしてもらっている。	桃郷の方針で初めての集団活動でもあり、親子で楽しむ大切さを考えて、具体的な支援内容より、幅広い目標としている。
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	0		毎回の保育終了後、子ども一人ひとりの今日の様子を検討し、次回の活動に生かせるようにしている。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	0	0	0		園内活動だけでなく、園外や自宅ではできないダイナミックな活動も取り入れ、固定化しないように工夫している。
	⑨	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	3	0		機会があれば交流できればと思う。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0	0		体験入園時に説明させてもらっているが、さらに分かりやすく伝えていきたい。
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	0	0	0		計画を提示しながら行っている。今後もさらに丁寧に説明していきたい。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	11	0	0	0	・学習会がためになった。	年に2回発達相談員を迎えての保護者学習会を行い、先輩保護者を迎えての進路学習会を年1回行っている。

保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	0	0	0	・子どもの気になるところをしっかりと伝えているし、それを気にかけてくれている。 ・細かく伝えてもらっている。	子どもの状況や課題を保護者の方と共通理解できるように、丁寧に子どもの様子や小さな変化も伝えるよう心がけている。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	0	0	1		発達相談でゆっくり話させて頂いたり、日々の保育の中でも気になることは伝えるようにしている。さらに丁寧に助言や支援をしていきたい。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	0	2	1		保護者会活動は無いが、交流会などで保護者同士の交流を図っている。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	0	0	0		登園時や降園時にお話を聞ける体制をとっている。また、相談などがあつたときには、迅速に対応している。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	1	0		毎月のおたよりや、お知らせの配布により情報を伝達させてもらっている。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	0	0	0		おたよりを月に1回配布している。急な変更などあるときには、電話対応している。自己評価については、HPIにて公開している。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9	1	0	1	・内部のことなのでどう管理されているか分からない。	個人情報については持ち出し禁止、保管方法等気を付けている。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	0	1	1		掲載場所を再度確認し、周知出来るように務める。防犯マニュアルについては早急で作成したい。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	0	0	1	・訓練の時、紙芝居を使っていたので子どもにも分かりやすかった。	訓練は行っている。随時新入児がいるので、ハザードマップなども利用し、危険地域や避難場所も確認していきたい。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0	0	・楽しみにしていて建物が見えると走って行く。 ・朝の支度がスムーズになる。 ・先生のことが大好きです。	丁寧な保育を積み重ね、子どもたちが「行きたい」と思ってくれる教室にしていきたい。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	11	0	0	0	・色々なことを楽しめるようになり満足してる。 ・楽しく通って満足。	これからも親子共に満足してもらえるように支援していきたい。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。